



2013-2014 年度

国際ロータリー会長 / ロンド・バートン
2690地区ガバナー / 森本 信一

会長 / 飯塚 大幸 副会長 / 内田 節夫
幹事 / 佐々木哲也 会計 / 石原 輝男

平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町2280-1 平田商工会議所2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

例会プログラム

例会日	卓話者	演題
9月26日	川田 康子 様	言葉の力を信じて
10月3日	(株)酒持田本店	夜間例会 18:30~
10月10日	出雲総合医療センター	職場訪問例会 12:30~

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
42	34	8 (3)	87.18 %	94.87 %

欠席者

高砂 / 持田 稔 / 清原 / 園山 / 曾田 (山根 / 牧野 / 木村)

来訪者

なし

メイクアップ

なし

次回例会受付当番

(10月3日) 福田 磨寿穂 / 伊藤 義徳 / 釜屋 治男
(10月10日) 三好 洋平 / 加藤 昇 / 加藤 喜久

近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	10/21	12/9	12/30(休)	松江南
火	出雲				松江しんじ湖 10/15 10/29
水	大社	10/2	10/16	10/30(休)	松江 10/30
木					松江東 10/17
金	出雲南	9/27	10/18	11/1(休)	

会長挨拶

「彼岸」

先週、恒松会員のご縁により、駐日モンゴル国全権大使・モンゴル健康科学大学訪日団歓迎パーティが、ここ「ホテルほり江」で開催され出席いたしました。ロータリークラブからもたくさんのお出でがありました。主催者の島根大学学長さんの挨拶にも、来賓の県の副知事さんの挨拶にも、出雲市副市長さんの挨拶にも、平田ロータリークラブとモンゴル国との交流、つまり坪田愛華さんの「地球の秘密」(モンゴル語訳)1万冊寄贈事業に言及があり、大変誇らしく感じたばかりか、あらためてロータリー活動の意義を感じさせていただきました。

お彼岸です。彼岸とは、春分・秋分を中日とし、前後各3日を合わせた各7日間(1年で計14日間)です。最初の日を「彼岸の入り」、最後の日を「彼岸明け」、中日に先祖に感謝し、残る6日は、悟りの境地に達するのに必要な6つの徳目「六波羅蜜」を修める日とされています。春分・秋分は、昼夜の時間が等しいところから、人の生き方も、快樂的なむさぼりの生き方ではなく、禁欲的な厳しすぎる生き方でもなく、バランスの取れた理想の中道を意味しています。サンスクリット語の「波羅蜜」(P ramit パラミター)の意識「至彼岸」に由来しており、春分・秋分は、太陽が真東から昇り、真西に沈むので、西方に沈む太陽を礼拝し、彼岸の極楽浄土に思いをはせたのが彼岸の始まりとされています。

40周年も着々と進行し、感謝いたしております。会員の皆様、健康を維持され、益々ロータリー活動に励んでいただきますようお願い申し上げます。

幹事報告

1. 例会変更

松江しんじ湖 RC 10/29(火) 職場訪問例会
ビジター受付 12:00~12:30 すいてんか

2. 休 会

松江しんじ湖 RC 10/15(火) 定款第6条により
ビジター受付 12:00~12:30 すいてんか
松江 RC 10/30(水) 定款第6条により
ビジター受付 12:00~12:30 ホテル一畑

3. 会費の引落 10/4 51,000円(10・11・12月分)

昨日までに、次年度役員、理事の立候補・推薦がございませんでしたので、現理事をもって指名委員と致します。

スマイル

川田様よりスマイルを頂きました。

飯塚大 (9/24 駐日モンゴル国全権大使、モンゴル健康歯科大学御一行歓迎パーティに出席させて頂き、恒松会員ありがとうございました。

本日の卓話講師、川田康子様 よろしくお願ひ致します。)

佐々木・杉原 (川田様、本日のスピーチよろしくお願ひします。)

加藤昇 (川田さん、ようこそいらっしゃいました。今日のスピーチを楽しみにしています。今後ともよろしくお願ひします。)

石原俊 (川田さん、ようこそ! いつもおきれいですね。今日はよろしくお願ひします。)

恒松 (島根大学で日本、モンゴル医療シンポジウムを歯科を中心にしたテーマで行いました。ホテルほり江でモンゴル大使と健康歯科大学一行歓迎パーティが無事終わりました。)

黒田 (会長が終わり、役職がなくなりましたら欠席が多く、申し訳ございません。本日も中途退席させて頂きます。)

釜屋 (今年も寛子が国体に出ます。ありがとうございます。)

スピーチ・例会行事

- 言葉の力を信じて -

Storyteller 川田康子様



私ではないでしょうか。絵や写真の本は見るが、お話をたどって読まなかった場合、感情、感覚を想像していくことができず、読書力は養われないのです。

私は昔話を100話せる人、親になりたいと思っています。本を読むとは、経験以上のものを得ることができます。わずかな子しか本を借りない現状。ストーリーテラーとして、読書の仕方と大切さを言葉の力を信じて伝えていきたいと願っています。

私は5年前から、小学校、中学校で絵本の読み聞かせをしており、そこでストーリーテリングの独特の世界観のとりこになってしまいました。なぜストーリーテリングなのか、絵本とどうちがうのか。絵本はわかり易いが、子供の想像力を奪っている